

平成26年度予算の概要

学校法人 神戸薬科大学

平成26年度予算は、平成25年12月18日に開催した評議員会及び理事会において承認された予算大綱に基づき編成した。特にこれからの大学間の競争を勝ち抜くために、「キャンパス整備」と「大学広報の強化」を重点に予算配分を行った。

資金収入については、学生納付金収入は、学部の授業料を前年度と同額の年間1,800千円とし、入学予定者を270人として積算した。補助金収入は、経常費補助、大型機器（NMR）購入補助、私立大学戦略的研究基盤形成支援事業関係他を計上した。手数料収入については、入学志願者数の増加を見込み、学部入学検定料他で前年度比増収とした。事業収入については、補助活動収入（寮費）の減収を見込み、受託事業収入と合わせ前年度比減収とした。寄付金収入については、奨学寄付金を中心に前年度と同額を計上した。資産運用収入については、運用資金の増加を見込み、前年度比増収とした。その他の収入については、第2号基本金引当資金（大型機器充実資金）からの繰入分他を計上した。

資金支出については、施設・設備関係は、「キャンパス整備」の一環として5号館ホワイエ整備、7号館（学生会館）耐震工事、ベンゼン池散策路整備を計上し、また大型機器（NMR）更新、私立大学戦略的研究基盤形成支援事業関係機器、委員会選定の研究用機器や実習用機器の購入他を計上した。教育研究経費については、経常的研究室配分研究費を中心に、長期実務実習関係費、共用試験関係費、教務システム更新などで教育研究体制の充実を図るための計上を行った。管理経費については、経常費は減額に努めたが、「大学広報の強化」のためのホームページ全面リニューアル、会計システム更新他で前年度比増額とした。資産運用支出については、減価償却引当資金、第2号基本金引当資金、第3号基本金引当資金をそれぞれ積立計上した。

以上の結果、次年度への繰越金は、前受学生納付金を上回るが、予算執行に際しては一層の支出削減に努めたい。

I. 資金収支

1. 資金収入

(1) 学生納付金収入

学部学生授業料は、新入生270人・2年次生307人・3年次生309人・4年次生307人・5年次生252人を1,800千円、6年次生258人を1,700千円とし、入学金は400千円とした結果、その他と合わせ前年度と同額の3,230,900千円を計上した。

(2) 手数料収入

学部入学検定料は入学志願者数の増加を見込み、センター入試を含めて78,000千円と想定し、その他の手数料と合わせ前年度比13,000千円増の94,000千円を計上した。

(3) 寄付金収入

奨学寄付金他で前年度と同額の25,000千円を計上した。

(4) 補助金収入

経常費国庫補助金は、特別補助を含め280,000千円を計上し、大型機器（NMR）購入補助金30,000千円、私立大学戦略的研究基盤形成支援事業関係27,000千円、学術研究振興資金4,000千円、その他の補助金を合わせ合計344,600千円を計上した。

(5) 資産運用収入

平成26年度期中予想90億円を、利回り平均1.0%で運用するとして、前年度比10,000千円増の91,300千円を計上した。

(6) 事業収入

補助活動収入は、前年度実績を勘案し、寮生の現員に合わせ、29,500千円を計上し、受託事業収入5,000千円と合わせ前年度比2,000千円減の34,500千円を計上した。

(7) 雑収入

退職金財団交付金54,000千円他、合計77,000千円を計上した。

(8) その他の収入

第2号基本金引当資金（大型機器充実資金）30,000千円、退職給与引当資金21,000千円繰入れの他に、前期末未収入金87,000千円と合わせ合計138,000千円を計上した。

2. 資金支出.

(1) 人件費支出

人件費は、教員 86 人と職員 46 人及び非常勤教員とアルバイト職員等の給与に退職金を合わせ、1,667,900 千円を計上した。

(2) 教育研究経費・管理経費支出

- ・教育研究経費：経常経費は引き続き節減に努めるが、長期実務実習関係費 215,000 千円、共用試験関係費 26,500 千円、私立大学戦略的研究基盤形成支援事業関係費 20,000 千円に加え、教務システム更新（カリキュラム対応）37,000 千円、学長裁量経費 10,000 千円、カレッジ T O E I C 任意受験費 2,500 千円他の新規案件があるため、前年度比 62,200 千円増の 1,159,400,000 千円を計上した。
- ・管理経費：ホームページ全面リニューアル 22,200 千円、会計システム更新 13,000 千円、年史第三巻製作費 12,500 千円、キャンパス整備建物設計費用 5,000 千円等により、前年度比 61,100 千円増の 316,000 千円を計上した。

(3) 借入金利息・借入金返済支出

平成 25 年度に日本私立学校振興・共済事業団からの借入金 136,210 千円を全額繰上返済する予定であったが、そのうち平成 26 年度償還期限の借入金 38,900 千円については、同事業団から繰上返済の承認を得られなかったため、当該借入金利息 1,000 千円、借入金返済支出 38,900 千円を各々計上した。

(4) 施設・設備関係支出

- ・施設関係支出：5 号館ホワイエ整備 12,000 千円、7 号館（学生会館）耐震工事 10,000 千円、ベンゼン池散策路整備 10,000 千円、6 号館 1 階防災備蓄倉庫整備 2,100 千円他で合計 40,900 千円を計上した。
- ・設備関係支出：大型機器（NMR）更新 70,000 千円、私立大学戦略的研究基盤形成支援事業関係機器 40,000 千円、研究用機器費 11,000 千円、実習用機器費 10,000 千円、図書館照明更新 3,600 千円、液晶プロジェクター 2 台 3,500 千円、1 号館第二応接室机・椅子更新 3,200 千円、事務用パソコン更新 2,500 千円、図書費 9,200 千円、その他と合わせ合計 195,700 千円を計上した。

(5) 資産運用支出

減価償却引当資金 180,000 千円に加えて、第 2 号基本金引当資金（教育環境整備資金）200,000 千円、第 2 号基本金引当資金（大型機器充実資金）20,000 千円、第 2 号基本金引当資金（施設設備整備資金）50,000 千円、第 3 号基本金引当資金 10,000 千円を合わせ、合計 460,000 千円を計上した。

(6) 予備費

各科目の予備として 20,000 千円を計上した。

(7) 次年度繰越支払資金

次年度繰越支払資金は 753,300 千円となり、前受金収入 390,500 千円は維持できる。

II. 消費収支

消費収支については、資金収支の内容を踏まえ、帰属収入から 382,300 千円を基本金へ組入れし、消費支出には減価償却費等を加算計上した。この結果、当年度の消費収支は 161,600 千円の支出超過となり、これにより翌年度への繰越収入超過額が 74,500 千円と前年度の収入超過額より減少するため、前年度以上に経費節減を進め、収支の改善に努力したい。